

# 特定行為研修修了者の数値目標に関する主なご意見

資料3

委員	数値目標設定 (賛成○ 不要× その他△)	委員からのご意見
A 委員	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定行為区分の区分によって専門性が異なるので検討が必要ではないか。</li> <li>・ 分野別に目標値を出す場合には、評価方法を詰めておくべき</li> </ul>
B 委員	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5名以上のステーションに1人配置し、地域別の必要数を算出</li> <li>・ 在宅で数値目標設定するならステーション数の増加に併せ目標見直すべき</li> <li>・ 特定の他、認定、専門看護師も数値目標に追加すべき。</li> </ul>
C 委員	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数が増えるだけでは資質の向上あるいは専門性の向上にうまく繋がらないのではないかと、まず、専門的な資質を持った方々が適切な場所で活躍することが重要</li> <li>・ 専門的な資格を持った方々の給与体系等を検討することが、結果として資質の高い看護師の確保に結びつくのではないかと。</li> </ul>
D 委員	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都が示した2029年度時点の推計と目標値の算出方法については賛成</li> <li>・ 目標値が無いとPDCAを回しづらい。</li> <li>・ 養成数が足りない区分など、区分も考慮出来たら良い。</li> </ul>
E 委員	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標値を定めることで病院管理者も重要性を認識できる。</li> <li>・ 数値目標2,738人に賛成</li> </ul>
F 委員	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数値目標は必要と考える。できれば質目標もつけるべき。</li> <li>・ ただし、分野ごとの数値目標が公表されれば、医療機関はノルマと考えて混乱が生じると思う。</li> <li>・ 全ての訪問看護ステーションへの配置は財政的にも人数的にも困難</li> <li>・ 医療圏も考慮すべき。</li> </ul>
G 委員	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門的資格は幅が広く、数値目標に意味があるのか疑問。数を増やせば良いというものではないと思われるが、何らかの数値目標が必要なのだろう。</li> <li>・ 今後もニーズが増えていく在宅分野で数値を出してみてもどうか。</li> <li>・ 特定行為研修に参加しづらい状況を改善するための数値目標が検討できるか。</li> </ul>
H 委員	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療とりわけ看護師関連の課題は特定行為だけで成り立っているわけではない。全体とのバランスが重要である。</li> <li>・ 分野の数値目標を定めると、その分野のみ数値目標を達成すれば良いのかという議論になってしまう。数値目標を出すのであれば、就業者数全体を数値目標として出すべきと考える。</li> </ul>